

CI インサイトレポート － 脂質異常症 －

【 目次見本 】

2026.1

株式会社社会情報サービス
Social Survey Research Information Co., Ltd

§ レポート全体概要

調査対象疾患	脂質異常症	
調査ポイント・topics	PCSK9	<ul style="list-style-type: none"> ◆ レパーサ/レクビオ ➤ 薬剤別処方状況、製品評価（各Strong point）について分析/検証 ➤ <u>国内のPCSK9の処方率の低さ</u>について検証 <ul style="list-style-type: none"> ⇒ 今後のPCSK9全体処方動向、薬剤別処方動向について徹底予測！
	ネクセトール	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 治療薬としてのポテンシャル、処方対象患者群、ポジショニングについて検証 <ul style="list-style-type: none"> ⇒ 今後の処方動向について徹底予測！
	新規薬剤（開発薬）	<ul style="list-style-type: none"> ◆ PCSK9阻害薬 経口/CEPT阻害薬/LP(a)低下薬 ➤ 治療薬としてのポテンシャル、処方対象患者群、ポジショニングについて検証・予測 <ul style="list-style-type: none"> ⇒ 新規薬剤のポテンシャル・処方動向を徹底検証・予測！
	LDL-C管理目標値	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 患者群別の治療成績（管理目標値達成状況）について分析/検証 ➤ 国内管理目標値の今後の見通しについて検証・予測 <ul style="list-style-type: none"> ⇒ 今後の管理目標値の変化動向について徹底検証・予測！ （<u>55mg/dL 未満</u> 適用の実現性は？ 課題は？）
	LP(a)	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 残余リスク、治療ターゲットとしての重要性について検証 ➤ 国内での普及の見通しについて検証・予測（普及に向けての課題は？） <ul style="list-style-type: none"> ⇒ 国内将来動向について徹底検証・予測！ （新たな治療ターゲットになり得るか？）

■ 調査対象薬剤

*調査重点対象

既存薬	-		ストロングスタチン
	-		エゼチミブ
	-		スタチン/エゼチミブ 配合剤
	PCSK9阻害薬（注射剤）		レパーサ（イボロクマブ）*
			レクビオ（インクリシラン）*
ATPクエン酸リアーゼ阻害剤		ネクセトール（ハムド酸）*	
開発薬*	PCSK9阻害薬（経口剤）		MK-0616 エンリシチドデカノエート
			AZD0780 Laroprovstat
	CEPT阻害薬		TA-8995 オビセトラピブ
	Lp(a)低下薬	注射剤	TQJ230 ペラカルセン
			AMG 890 オルパシラン
			LY3819469 レポディシラン
		経口剤	LY3473329 ムバラプリン

§ レポートPart別概要

調査種類	Part I データ分析編	Part II 定量調査編	Part III KOLヒアリング編
調査手法	(オープンソースを基にした) データ分析	インターネットによるWEB調査	デプスインタビュー
調査対象医師/ 対象医師数	—	脂質異常症臨床医 計212名 [内 対象開発薬治験参加医 25名]	脂質異常症 TOP KOL 3名 【関連学会 役員】
調査対象診療科 〈施設種類〉	—	循環器内科〈HP/GP〉	循環器内科〈HP〉
調査内容	<p>〈既存薬〉 プロファイル、作用機序・特性、 薬価、販売高推移、臨床試験、 関連論文</p> <p>〈開発薬〉 プロファイル、作用機序・特性、 臨床試験、関連文献</p> <p>〈その他〉 注目企業動向、学会情報</p> <p>〈別添〉 抄録集（関連論文）</p>	<p>〈患者動向〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 一次予防・リスク別患者状況 ● 二次予防・冠動脈疾患別患者状況 <p>〈治療状況〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 一次/二次予防薬剤別処方状況 ● 一次/二次予防患者群別L LDL-C管理目標値達成状況 ● ACS患者の最適なLDL-C管理目標値 <p>〈ネクセトール〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 临床上での処方意向/処方対象患者群 ● 他剤（既存薬）への影響度 <p>〈Lp(a)認知・測定状況〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 現在の認知状況 ● 測定経験/測定対象患者群 ● Lp(a)コントロールの重要性が高い患者群 <p>〈新規薬剤（開発薬）処方動向予測〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 薬剤別処方意向・期待度/処方ターゲット <p>等</p>	<p>〈PCSK9阻害薬処方状況・製品評価〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 薬剤別処方状況・製品評価 ● 全体/薬剤別処方動向予測* <p>〈ネクセトール製品評価・処方動向予測〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 製品評価(Strong/Weak point) ● 処方動向予測* <p>〈国内LDL-C管理目標値達成状況〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 達成状況が低い患者群/背景・要因* <p>〈国内LDL-C管理目標値将来予測〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ● LDL-C管理目標値に対する見解 ● LDL-C管理目標値ガイドライン予測* <p>〈Lp(a)将来動向予測〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ● Lp(a)に対する見解・国内動向予測* ● Lp(a)低下薬将来動向予測* <p>〈新規薬剤（開発薬）ポテンシャル分析〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 薬剤別ポテンシャル分析 <p>等</p> <p>*国内全体の実態/将来動向についての 検証/予測を含む</p>
調査実施時期	2025年11月～12月		
体裁/頁数	Part I・・・PPT（or EXCEL）、Part II & III・・・PPT / A4 計約350ページ（報告書本編のみ、別添は含まない）		
レポート価格	レポート本編 ※オプション	フルセット〈3パート〉 □ウデータ □ウデータ + ターゲットマッチング	190万円（税別） 60万円（税別） 70万円（税別）

< Part I データ分析編 目次 >

調査概要	3	Ⅲ. 関連企業動向	55
I. 既存品	4	IV. 学会情報	63
I-1. プロファイル	5	IV-1. 日本動脈硬化学会	64
I-2. 作用機序・特性	11	IV-2. 動脈硬化教育フォーラム	69
I-3. 薬価	30	IV-3. 日本循環器学会	72
I-4. 販売高推移	37	IV-4. 日本心血管インターベンション治療学会	76
I-5. 臨床試験 (UMIN)	38	V. 関連文献	80
I-6. 臨床試験 (jRCT)	40	V-1-1. 既存品・製品別	81
II. 開発品	43	V-1-2. 既存品・複数	83
II-1. プロファイル	44	V-2. 開発品	87
II-2. 作用機序・特性	48	V-3. 既存品+開発品	89
II-3. 臨床試験 (jRCT)	51		

< Part II 定量調査 要約編 目次 >

調査概要	3
回答者プロフィール	4
§.Executive Summary	6
§.Summary	15
1) 診療状況	16
2) 一次予防/治療状況・治療成績	19
3) 二次予防/治療状況・治療成績	26
4) ネクセトール認知状況・処方動向	37
5) Lp(a)認知・測定状況	42
6) 開発薬認知状況・処方動向	50

< Part II 定量調査 結果編 目次 >

調査概要	3	4) ネクセートル認知状況・処方動向	38
回答者プロフィール	4	4-1.薬剤認知状況	39
§ 調査結果	6	4-2.臨床上的での処方意向	40
1) 診療状況	7	4-3.臨床上的での処方対象患者群	41
1-1.診療患者数（人/月）	8	4-4.他剤への影響度(処方数減少薬剤)	42
1-2.二次予防/冠動脈疾患別患者状況	9	5) Lp(a)認知・測定状況	51
1-3.non-FH・一次予防/リスク別患者状況	10	5-1.認知状況・測定経験	52
2) 一次予防/治療状況・治療成績	11	5-2.測定対象患者群(対象：測定経験 有)	53
2-1.薬剤種類別処方状況	12	5-3.所属施設における測定状況(対象：測定経験 有)	54
2-2.項目別管理目標値達成状況	18	5-4.測定タイミング(対象:測定経験 有)	55
2-3.LDL-C管理目標値達成状況	21	5-5.Lp(a)低下薬上市後の測定予定(対象:測定経験 無)	56
3) 二次予防/治療状況・治療成績	22	5-6.Lp(a)コントロールの重要性が高い患者群・リスク因子	57
3-1.薬剤種類別処方状況	23	6) 開発薬認知状況・処方動向	60
3-2.PCI施行状況	29	6-1.薬剤別認知状況	61
3-3.項目別管理目標値達成状況	30	6-2.薬剤別処方意向	65
3-4.LDL-C管理目標値達成状況	36	6-3.薬剤別期待ポイント	74
3-5.ACS患者に対する最適なLDL-C管理目標値	37	6-4.薬剤別処方ターゲット	81

< Part III KOLヒアリング編 目次 >

調査概要	3
Summary	6
1. PCSK9阻害薬処方状況・製品評価	18
2. ネクセトール製品評価・処方動向予測	23
3. 国内LDL-C管理目標値の達成状況	28
4. 国内LDL-C管理目標値将来予測	30
5. Lp(a)国内将来動向予測	32
6. 新規薬剤（開発薬）ポテンシャル分析	37